

瀬戸内町立秋徳小中学校

# 秋徳校だより



平成22年  
2月号

—子どもたちを、光り輝く宝石に！—

学校長

平成21年度も11ヶ月が過ぎようとしています。月日が経つのは早いものです。

先日、全校朝会で「勉強」について話しました。「勉強」という言葉からどのようなことを連想しますか。「計算、漢字練習、本読み、作文、体操」などなど。勉強といえば、このようなことを連想したのではないかと思います。

今、勉強しなければならぬ理由は、「一生学び続けるための知識や方法を身に付ける」ことが必要だからだと考えます。秋徳校では、このことを念頭に置いた指導を重ねてきました。また、基本的なことを繰り返す指導し、「忘れる量」を減らす試みも行いました。その結果、様々なテストを分析してみると、今までの学習の定着が高いという結果が出ています。

子どもたちは、内に秘めた大きな可能性を持っています。「この子は、こんな子」ではなく、「この子は、荒々しい原石。磨けば磨くほど光り輝く宝石」だと考えていただきたい。「磨く」とは、努力をすること、させることだと考えていただきたい。

「本人の努力、教師の指導力、さらに家庭の協力」のおかげで秋徳校の子どもたちは、学習したことがしっかり身に付いています。毎日、少しずつ努力を重ねてきたこと（勉強したこと）が、一人一人の人生において大きなチャンスを与えてくれるものと思います。

## 2月の学校紹介

### おいしい黒糖ができました。

2月9・10日の2日間、  
さん、さん、  
さんに御協力をいただき、サトウキビの刈り取りから黒糖作りまでの体験学習をしました。

昨年体験していることもあり、刈り取り作業では、皮むき用の鎌を上手に使って皮をはぎ、長さをそろえて束ねることができました。

刈り取ったサトウキビは釜製糖工場ではぼっていただき、そのキビ汁を約2時間かけて釜で熱し、製糖しました。徐々に水分がなくなりトロトロした液体から黒糖の固まりができる瞬間を目の当たりにした子どもたちは驚きの様子でした。できあがった黒糖は格別のおいしさでした。



### 1/2成人式で堂々と将来の夢を発表できました。

2月5日（金）、  
さんと  
さんが10歳になった記念として「2分の1成人式」を行いました。講師に『奄美の寅さん』こと花井恒三さんをお迎えし「奄美の寅さん おもしろ話」と題して講演をしていただきました。「これからは交通や通信が便利になり、奄美に住み（働き）、都会でも住む（働く）時代。みなさんも奄美を大切しながら都会で活躍して欲しい。」と話されました。



講演を聴いた後、  
さんは「将来、映画監督になり奄美のよさを紹介したい」と、  
さんは「将来、政治家になって不況をなんとかしたい」と堂々と発表しました。奄美の将来と自分の夢を見つめ直すよい機会になりました。

### 雪のプレゼント！（2月18日付 南海日日新聞に掲載）

2月8日（月）、千葉県在住の鈴木昇さん（野見山集落嘉野区長の知り合い）が、新潟県から雪だるま3ケースを送っていただきました。



初めて雪に触れた中学3年生の  
さんは「生まれて初めて触った雪は冷たくて気持ちいい。けど、指先がジンジン痛くなった。」と話していました。そして、全員で雪だるまを作ったり雪合戦をしたりして、初めての雪遊びを大いに楽しみました。

### 秋徳敬老会との交流会

2月14日（日）、旧正月のお祝いを兼ねて、秋徳敬老会との交流会をしました。

子どもたちは、総合の時間を利用して秋徳集落の清掃作業をしたことの発表をしたり、島口でのお笑いコントやけん玉・お手玉遊びをして楽しんでいただいたりしました。敬老会のみなさんのたくさんの笑顔を見ることができ、子どもたちも満足した様子でした。



来年も敬老会のみなさんとの会を開くことができますように、今年1年もお元気でお過ごしください。

## 3月の行事予定

- |        |                 |
|--------|-----------------|
| 4日（木）  | ALT授業           |
| 5日（金）  | かけはし号           |
| 9～10日  | 公立高校入試          |
| 12日（金） | お別れ遠足（清水運動公園）   |
| 16日（火） | 第51回秋徳中学校卒業式    |
| 19日（金） | かけはし号           |
| 25日（木） | 終了式             |
| 26日（金） | P.T.A送別会（秋徳公民館） |
| 29日（月） | 辞任式             |

